

9月26日（金）紅葉

きのう おんがくちょうかい おうぎ こ
昨日の音楽朝会では、扇っ子のきれ
いな声が響きました。「もみじ」の歌が、
あき 秋を連れてきてくれると思ってしまいました。



さて、「もみじ」の歌の中に「赤や黄色の」という歌詞が出て
きます。なぜ、赤や黄色になるのでしょうか。

は いろ か いろ は なか しきそ
葉っぱの色が変わるのは、葉の中にある色素というものが、
へんか 変化するからだそうです。あき 秋になると涼しくなって、しきそ 色素が
かわるので、は いろ あか きいろ
葉の色が赤や黄色になるのです。

では、あか 赤くなる葉と きいろ 黄色くなる葉の違いは何なのでしょう
か。実は、じつ 植物の中には、しよくぶつ なか にんげん おな けつえきがた
人間と同じように血液型があるものがあるのです。もみじの場合は、
ばあい

おーがた あか
O型・・・紅

えーびーがた きいろ
AB型・・・黄色

になります。

ちなみに、けつえきがた き おーがた のこ
血液型がある木のほとんどがO型です。残りは
えーびーがた えーがた びーがた
AB型で、A型とB型の木はほとんどないのだそうです。

あか み ひと した も
赤いもみじを見たら、O型の人は、親しみがもっと持てる
かもしれませんね。

村越 新